

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.89

2007/04/27

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

保全作業着々と進展・・・



第 1 回「保全活動の日」の灌木帯整理作業の会員 (07/04/21)

昨年以來保全作業に参加していただく会員や団体が増加し森の保全作業が予想以上のスピードで進行しているのは何よりのことです。本会発足当時の状況と比べると目を見張るものがあります。今年度も着々と作業が進み、将来展望も明るいものとなってきました。が作業が進行するにつれ、課題も次々と出てきますが少しずつ前進してゆきたいものです。

4 月から定例化した第 3 土曜日の「保全活動日」の 1 回目

は、他府県の方も参加していただき「見違える湿原」が甦りました。

また観察コースの滑りやすい橋の補修作業・コース崩壊地点の補修作業・侵入植物（オオバコ・セイヨウタンポポ）の除



整備し終わった灌木帯 (07/04/21)



橋の滑り止め作業 (07/04/20)

去作業・観察コース沿いの枝打ちの後始末（この結果トキワカリスウ・チゴユリ・スミレ類が多く発芽している）・林縁の下草刈り等を実施した。このような作業は、生業が成り立っていない里山で、



コース崩壊地点の補修作業 (07/04/05)



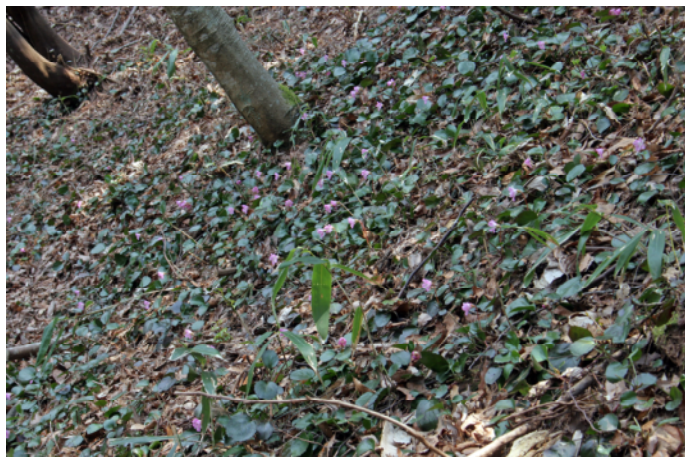
セイヨウタンポポの除去 (07/04/16)

生物多様性を保全するためには今後も繰り返し実施してゆく必要があり、多くの協力者が無くては実施できません。今後とも会員はじめ諸団体の協力をえて活動を続けていきたいものです。

5 月 1 9 日（土）が次の保全作業日です。9 時 30 分「やまかど・森の楽舎」集合

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>



トクワカソウの群落 (07/04/15)

トクワカソウ群落地は、一昨年から保全作業をやってきましたが群落の拡大が続き、今年は多くの花が付けました。同様一昨年秋会員に播種していただいたササユリの種子は見事に発芽しました。



ササユリの発芽 (07/04/17)

今春は、4カ所の植生の違う林床の土壌を採集して、埋蔵種子からどのような植物が発芽するかも調べることにしています。

今森では、スミレ類が見事に咲き誇っています



埋蔵種子発芽試験 (07/04/17)

が、森には6種類分布しています。スミレ・シハイスミレ・タチツボスミレ・アギスミレ・ツボスミレ・スミレサイシンです。スミレサイシンは、日本海側のスミレで、森では四季の森より上部に分布しています。



スミレサイシン (07/04/18)



オオカメノキ (07/04/20)

比較的目に触れることが少ないものとしてオオカメノキ(湿原からの沢沿い)とウスギヨウラク(四季の森)がありますが、今年はいずれも良く花が付いています。

昨年からの課題になっている保全作業の一つに「湿原尻」から「やまかど・森の楽舎」までの帰路に沢沿いのコースが使えないか



ウスギヨウラク (07/04/20)

というのがあります。1990年代は、このコースが湿原への主コースでした。が現在のコースが整備されたことと、植林が進んだことで沢沿いのコースは放置されてきました。過日このコースを再利用



湿原からの清水が魅力的な沢沿いコース (07/04/20)

延べ100人規模の仕事量があります。会員の皆様のご協力が鍵なんです・・・